

告示	番号	17	慢性消化器疾患
	疾病名	自己免疫性肝炎	

自己免疫性肝炎

じこめんえぎせいかんえん

概念・定義

肝細胞障害の成立に自己免疫機序が関与していると考えられる慢性に経過する肝炎である。原則的には既知の肝炎ウイルス、アルコール、薬物による肝障害、及び他の自己免疫疾患に基づく肝障害は除外される(*)。また治療に際し免疫抑制剤、特にコルチコステロイドが著効を奏す。一方最近の調査により、急性肝炎様に発症する症例の存在が明らかとなっている。

*我が国ではC型肝炎ウイルス血症を伴う自己免疫性肝炎がある。

抜粋元：http://www.shouman.jp/details/12_10_17.html